

2021 年度予算案に対する市議会公明党の討論

2021 年 3 月 26 日
市議会公明党
村松 徹

それでは、2021 年度（令和 3 年度）八王子市一般会計、各特別会計予算および公営企業会計予算ならびに関連議案について、市議会公明党を代表し、賛成の立場から討論します。

石森市長は、今回の予算案について、八王子市の基本構想・基本計画である「八王子ビジョン 2022」の最終年度となる 2022 年度と一体的に 24 か月を通した事業推進により、1 年次目の必要経費を計上するとともに、新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越え、「ポストコロナ時代」の「新たな日常」を構築する内容として編成した、と説明されました。

世界的感染症「新型コロナ」との攻防戦が繰り広げられる中、本市にあって市民の暮らし、市民の生命を守り抜くことを至上命題に掲げ、税収の大幅減が予想されてもゼロベースでの事業精査で応戦し、大変な苦労を積み重ねて編成された予算案と認識します。過去に経験のない厳しい局面での予算編成だったことでしょう。わが会派の予算要望、緊急要望などの項目も随所に反映されており、率直に評価させていただきます。

今予算を概観すると、大きな特徴は、歳入面ではコロナ禍を受け、市税収入全体で前年度比 58 億円減の 854 億円と予想したものの、国の特例交付金、東京都の法人事業交付金の増額などを見込み、全体で増額予算としました。また、臨時財政対策債は前年度比 26 億円増の 76 億円を計上しました。

歳出面では、地域経済回復の観点から、新・館清掃工場建設や八王子駅南口集いの拠点、新保健所、給食センター整備など大型事業を推進し、投資的経費は前年度比 158 億増を計画しました。

2021 年度末時点の現債額については、全会計合計で前年度末比で 115 億円増の 2,097 億円、5 年ぶりに 2,000 億円台を突破する見通しです。しかし、基金残高は公共施設整備保全基金への積み立てなどにより、229 億円と 200 億円台を維持します。今後も発生主義・複式簿記による新公会計で制作された財務諸表をフル活用し、行財政改革を具体的に推し進め、財政の健全性維持・向上に

努めていただきたいと要望します。

今回の予算編成において、特に重点的に取り上げるべき政策の柱というものは①新型コロナ対策②行政のデジタル化対応③防災・減災対策—の3つと考えておりました。この3つについて、本予算案はしっかり手立てしていることを評価します。

「新型コロナ対策」は最優先で取り組まなければならない重大テーマです。本市保健所の感染対応は、保健師の陽性者経過観察、濃厚接触者の把握など業務や異性を強化するとしています。一都3県の緊急事態宣言は今日21日に解除されましたが、都内感染者数は解除3日目の24日が420人、昨日25日も394人と増加傾向を見せています。変異株による感染者増が懸念され、一層強固な対策が必要です。本市のワクチン接種は4月12日、高齢者を対象に集団接種方式でスタートします。代表質問でも述べましたが、複数のワクチンが承認された時、直ちに掛かりつけ医・訪問医による個別接種を早々に進めていただくよう改めて要望いたします。

また、コロナ禍の経済活動に及ぼす影響は甚大で、今予算にも中小企業活性化支援、サテライト・オフィス設置補助など2月補正に重ねる形で新規・充実施策が多数盛り込まれました。しかし、3月期決算の企業からは今が正念場と悲痛な声も耳にします。企業の新卒採用も業種・業態によっては報道ほど改善していない面があります。本市にあっては国、東京都の2月補正、来年度予算に盛り込まれた支援メニューも積極活用し、市内企業・商店を徹して守る手立てに万全を期して頂きたい。

行政の「デジタル化」「DX化」については、スマートフォンを使った「オンライン手続き」、市民の問い合わせに24時間対応できる「チャットボット」など予算化されました。さらに、マイナンバーカードを活用し、全国どこでもコンビニで諸証明書発行を受けられる「コンビニ交付」も始まります。新しいデジタル化推進のための新組織も立ち上がりますので、情報セキュリティ対策、デジタルデバイド対策を着実に進め、市民サービス向上に直結するデジタル化を是非宜しく願います。

コロナ禍にあっても、というか、むしろコロナ禍の中だからこそ、災害は複合災害となります。年々激烈の度を増す自然災害への備え、防災・減災対策を怠ってはなりません。本市は今回、避難所におけるコロナ感染拡大を防止するため、簡易型避難テント450帖、停電時の携帯充電用のソーラーパネル付き蓄電池45セットを配備します。避難所の備品整備はこれで充足したとは考えられず、計画的な増配備を引き続き進めていただきたい。

災害時に避難所となる屋内体育施設への空調設置は市民センター、中学校武道場の計 8 か所で実施され、2021 年度は小中学校 6 校を含む計 9 施設に整備されます。わが会派の代表質問に対し、市長は「風水害時の避難所のうち、開設頻度の高い場所に計画的に整備していく」と答弁されました。一昨年台風 19 号の際、本市は 36 の避難所を開設しています。それら施設のロケーション、付帯設備の状況などを精査していただき是非、具体的な整備促進をお願いします。

そのほかの施策について言及します。

「保健医療対策」では、胃がん内視鏡検診の対象年齢の上限撤廃、特定不妊治療費助成の所得制限撤廃、不育症検査の新たな助成制度がスタートします。わが会派の政策要望に合うこれらの施策をまずは高く評価させていただきます。

子育て支援では、産前・産後の家事・育児支援ヘルパー派遣を拡充するほか、里帰り出産ができなくなった妊産婦への支援、2021 年度に 1 歳の誕生日を迎える子どもに商品券を配布する「ファーストバースディサポート」を実施します。多胎家庭への支援も、健診時の移動支援などによりさらに充実します。

ただ一方で、産前産後サポートに関しては「産後ドゥーラ」の導入拡大がなかなか進みません。合計特殊出生率で評価する限り、「子育てしやすいまちナンバーワン」達成には、まだ課題が多いのも現実です。高校 3 年間の医療費無償化も、わが会派の重要政策課題です。こうした施策実現に積極的に取り組んで頂きたい。

「八王子市高齢者計画・第 8 期介護保険事業計画」が 2021 年度スタートします。「団塊の世代」が後期高齢者に移行する 2025 年度を見据え、新たに着手する「短期集中予防サービス」の推進で、健康で自立した日常生活の維持、多様な社会参加に重点を置いた実効性ある施策展開を要望します。

「地域づくり」では、「地域づくり推進事業」と合同で実施している中学校区別ワークショップを継続するとともに、新設置する懇談会で「長期ビジョン」の素案を策定します。少子高齢化などの社会情勢を捉え、持続可能な地域社会の構築に向け、市民の声を十分に活かした推進をお願いします。あわせて同事業と連携し、「施設マネジメント」の着実な進捗を求めます。

教育面では、中学生に温かい給食を提供する給食センターについて、3 施設目の元横山が 9 月に稼働を開始します。2021 年度はさらに 4 施設目の檜原が建設着工、5 施設目の寺田の設計も始まります。給食センター整備が進み、温かい給食を食べられる中学生が年々増えていきます。一日も早く全ての中学生に温かい給食を提供できるよう、一層の事業推進を求めます。

「まちづくり」では、東京都立多摩産業交流センターが明年2月、いよいよ竣工します。これを機に八王子駅北口地域はさらに活力ある街に大きく変貌するものと期待します。わが会派は、産業交流センター整備と連動させた旭町・明神町地区の再整備、八王子駅前の交通環境改善を求めてきました。ＪＲ八王子駅と京王八王子駅を結ぶマルベリーブリッジ延伸についても事業化の検討を求めます。

「八王子駅南口・集いの拠点整備」に関しては、いよいよ用地を取得するとともに、整備運営事業者の公募や交通アクセスに関連した検討が始まります。代表質問で市長は「夢と希望の拠点」を目指すと言えられたが、そうした思いが具現化した計画策定となることを期待します。

環境施策では、国が2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の方針を打ち出したことを受け、「八王子市地球温暖化対策地域推進計画」が改訂されます。長期目標を国に合わせて目標設定すると聞いています。着実な目標達成をしっかりと進めていただきたい。

また、今議会では「八王子市男女共同参画推進条例」を制定することが示されました。同条例の制定は、わが会派の長年にわたる政策要望のひとつです。この取り組みに注目しています。「男女共同参画社会の実現」に向け、実効性ある施策の展開となるよう注目しています。

最後に、本年は東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年です。昨日、聖火リレー式典が福島で開催され、最初の聖火ランナーが走る姿をテレビで拝見しました。ここに至るまでの関係者のご努力や、いかばかりかと思います。八王子市にも7月10日、聖火リレーがやってきます。コロナ禍のため、海外からの観客を受け入れないことに決定しましたが、それだけアスリートに対する日本人の「おもてなし」の心が大事になってくると考えます。事前キャンプの海外チームに対しても誠意を尽くし、多摩ニュータウンの5.1キロを会場としたロードレース競技の無事故の運営を含め、大成功のオリパラとなるよう市の取り組みをお願いしたいと思います。

結びに、私ども市議会公明党の議員が代表質疑、総括質疑、分科会審議において要望した提案や意見、指摘事項を、今後の市政運営に積極的に反映して頂くよう強く求め、本予算案への賛成意見と致します。

以 上